

【 . 指標以外の観点からの評価】

取組	指標以外の観点からの評価
	<p>・県立美術館が中心となって実施している教育プログラム「地域の色・自分の色」の取組が評価され、「第66回読売教育賞 最優秀賞(美術教育部門)」を受賞した。</p>
	<p>・全国障害者芸術・文化祭の1年前イベントとして障がいのある方とない方とがともにつくりあげるダンス発表会などを実施し、2,288人の観客を動員した。</p> <p>・アクティブ・ラーニング美術教育推進事業により、17市町34校50学級の小学生(1,060人)が美術館を活用し、対話形式による主体的な鑑賞授業を実施した。</p> <p>・子どもたちを対象とした書道体験のワークショップを開催(参加者30人)することにより、芸術文化に触れる機会を創出した。</p>
	<p>・別府市のアートプロジェクト(in BEPPU、ベップ・アート・マンス)や竹田アートカルチャーなどを開催し、芸術文化の振興と、誘客、情報発信の一体的な推進を図ったほか、地域のアートプロジェクトに係る調査・研究を実施した。</p>

【 . 施策を構成する主要事業】

取組	事業名(29年度事業)	事業コスト(千円)	事務事業評価		主要な施策の成果掲載頁
			総合評価	30年度の方向性	
	芸術文化ゾーン拠点創出事業	90,000	A	継続・見直し	29
	全国障害者芸術・文化祭開催準備事業	55,160	A	継続・見直し	244
	創造県おおいた推進事業	74,272	A	継続・見直し	28

【 . 施策に対する意見・提言】

<p>大分県芸術文化振興会議(H30.2)</p> <p>・国民文化祭をきっかけに地域文化の底上げ、次代の担い手育成をしていく形が必要ではないか。</p> <p>・国民文化祭、全国障害者芸術・文化祭は、県内のいろんな課題解決に向けて地域が一生懸命になれるととてもいいきっかけである。終了した途端、担う組織がなくなることはないようまくバトンタッチして欲しい。</p>	<p>大分県文化振興県民会議(H29.9)</p> <p>・パンフレット等にSPコードが付いたことで視覚障がいの方たちにとっては細かいことまでが音声で入ってくることで見えることになり、とても喜んでいると思う。ルビを打つとなお読みやすいのではないかと。</p>
--	---

【 . 総合評価と今後の施策展開について】

総合評価	施策展開の具体的内容
A	<p>・大分県立美術館とiichiko総合文化センターを芸術文化ゾーンとして、県内各地の様々な取組との連携を深め、ネットワークの構築を図るとともに、芸術文化の創造性を活用した教育、産業、福祉分野の取組を進める。</p> <p>・国民文化祭、全国障害者芸術・文化祭、ラグビーワールドカップといった大型イベントに併せ、国際的に情報発信力のあるアートイベントの開催等により、誘客や地域イメージの向上を図る。</p> <p>・芸術文化ゾーンのみならず、県内各地においてもアウトリーチ活動等を展開し、多くの子ども達や障がいのある方などが芸術文化に触れる機会の充実を図る。</p> <p>・「第33回国民文化祭・おおいた2018」「第18回全国障害者芸術・文化祭おおいた大会」を成功させるとともに「障がい者の理解と社会参加の促進」というレガシーを創出する。</p>